

## 高校2年生

### 課題

今世の中で何が起きているか？これから公民権を得ていくみなさんに、とにかくニュースを観てほしいと思います。ニュースを観て関心を持った記事を挙げて、それについての意見をA4サイズのレポートに400字程度でまとめてください。

(記事の数や、レポートの枚数は特に問いません。)

※ 1回目と同じ課題です。3本目のレポートをまとめてください。

### 高校2年3組 日本史B選択宿題【4月30日】

教科書の389ページの安保条約の改定～392ページの保守政権の安定までの範囲を読んで、わからない用語を日本史用語集で調べ、ノートに書きだしてください。

こんにちは。先週の内容は理解してくれましたか？今週の範囲は保守政権の安定です。内閣総理大臣を順番に覚えるのと、その政策が理解できることがポイントです!!いよいよ来週は学校が再開される予定です。来週は元気な姿の皆さんを見られることを楽しみにしています。あと、この3週間の勉強の成果にも期待しています!!

## 高2 世界史課題

宿題は順調に進んでいますか？今回の範囲が、個人的には一番面白いと思っています。アテネの政治にどんどん平民が入っていくところとか、ペルシア戦争とか、マケドニアが強くなるところとか……、想像力をフル活用して学んでください。

※休校明けのテストのお知らせ（再掲）

休校期間中に学習する内容については、休校明けに試験をする予定です。試験といっても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとっては、学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題です。

- ① 教科書 p.29～p.36 を読んで、「各国別世界史ノート」の p.10～p.13 の内容を学習してください。（ギリシア文化・ヘレニズム文化は除きますが、各国史ノートには答えを入れておいてください）その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

【講義動画の紹介】

・「Historia Mundi」という先生の Youtube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史 20 話プロジェクト」の、010～012 が今週の内容です。

・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）  
高校生用ページの一番下に世界史があります。

第2講 3 ギリシア文明(1)～(3)後半、

4 ポリスの変質とヘレニズム時代(1)(2)

が今週の内容です。

- ②次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します

問題「アレクサンドロス大王はギリシア人とペルシア人の民族の融合を目指し、ギリシア人の移住や異民族間の結婚を奨励しました。このことについて、あなたはどのように考えますか。賛成・反対の立場を明らかにし、その理由も説明してください。現代におきかえて考えても構いません。」（字数の指定・制限は特にありません）

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

# 世界史 お助けプリント③

- ①アゴラ ②ペリポロイ ③マサリア, ネアポリスなど  
 (check)の答え ④ヘイロータイ ⑤リュクルゴスの制

古代ギリシアに誕生した都市国家、ポリスについての  
 続編。①ポリスはたいてい山にたっています。  
 中心に広場(アゴラ)があり、丘(アクロポリス)の上に  
 神殿がある。神殿は、アテナのポリスに神殿が  
 有名ですね。②住んでいるのは、自由民と奴隷。

ポリスは政治的には独立したけど、ギリシアとしての  
 仲間意識はあったよ。自分たちを「ハネス」と呼んで  
 異民族は「バロイ」と呼んで、現代のオリンピック  
 につながるオリンピックの祭典に加わって、オリンピックの  
 祭典中は、戦争もストップしてたらしい！

この頃のポリスの中でも大きな存在だった。  
 「アテナ」と「アテナ」について扱います。アテナは  
 次のページにて。アテナは「アテナ教育」として  
 聞いたことありますか？ 厳しくビシバシ教えるイメージ  
 はイメージですね。その言葉の由来はアテナの  
 二の、アテナというポリスです。そう、厳しかったのよ。

①の通り、アテナは先住民を征服して成立した  
 ポリスです。先住民をそのまま暮らしては、つまり!!  
 アテナのアテナ(ドーリア人)に、この頃、中には  
 敵(先住民)だらけ! だけど、隙を見せようものなら、反乱がおこるかも。

だから、アテナの男たちは常に強くなければいけなかったし、  
 アテナの女たちは健康に子をとこまうなければいけなかったよ。  
 このアテナを維持するために採用されたのが③④リュクルゴスの制、だよ。  
 男の子は小さい時から軍人としての厳格な教育をうけていた。  
 アテナの男がぶらぶらするのは、  
 「命に代償を払え」「忍耐強くあれ」「勝利に執着しろ」  
 イヤ〜、強くていかにあるか〜。  
 アテナ市民には必ず「食事をいっしょにとり、団結力を高めるとともに、お互いを監視してはたして。…」

## 10 古代ギリシア・ヘレニズム史

### ①ポリスの構造とその住民

教科書 p.29-30

- ①各ポリスは独立した国家で、城壁で囲まれた市域と周囲の田園から構成  
 →市域の中心部の(①アゴラ)と呼ばれる丘には神殿がおかれる。また、(①アゴラ)と  
 呼ばれる広場では市場や集会が開かれ、市民の社交の場ともなる
- ②ポリスの住民…自由人の市民とこれに隷属する奴隷から構成  
 i) 市民…王(貴族の第一人者)・貴族(騎兵)・平民からなり、私有地である(①クレーロス)  
 (「持ち分地」)を所有。市民同士の関係は平等が原則
- ii) 奴隷…借財で没落した市民、戦争捕虜、海外から輸入される異民族など

大事なところについて  
 神様に敬意を払った。

### ②ポリスの文化

- ①ポリス間の抗争はたえなかったが、人々はギリシア人としての同胞意識を保持  
 →みずから(①ハネス)、その土地を(②ハラス)と呼び、隣保同盟や(③テレフォイ)  
 の神託の崇拝、4年に一度の(④オリンピック)の祭典などで同胞意識を共有

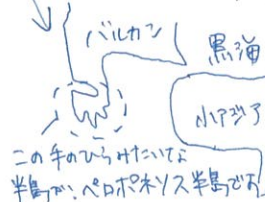
### ③ギリシア人の海外植民

- ①ギリシア人は異民族を(⑤バロイ) (わけのわからないことばを話すもの)と蔑称して区別
- ②人口増加にともなって、各ポリスは地中海・黒海沿岸に植民市を建設  
 →(⑥マサリア) (現マルセイユ)、(⑦ネアポリス) (現ナポリ)、(⑧ビザンティオン) (現  
 イスタンブル、中世では(⑨コンスタンティノープル)、ニカイア(現ニース)など
- ③植民市の形成でポリスの商工業が活発化。また、リディアの貨幣も流入して貨幣経済が発展  
 前に出たよね 教科書 p.31 ナポリやマルセイユは昔から近いですね。昔の名前と。

## 3 スパルタ

- ①成立…ドーリア人がペロポネソス半島のラコニア地方に先住民を征服して建設
- ②スパルタの構造  
 ①スパルティアタイ…征服民を起源とする少数の完全市民で、スパルタの支配層  
 ②(①ペリオイコイ)…周辺民と呼ばれ、商工業に従事する半自由民  
 ③(②ヘイロータイ)…被征服民を起源とし、農業に従事する大多数の奴隷身分の人々
- ③スパルタの統治体制  
 ①2名の王による王政だが、実際の政治は長老会やエフォロイと呼ばれる監督官が担う  
 ②(③リュクルゴス)の制…大多数のヘイロータイの反乱を防止するため確立された、スパルタ  
 市民団内部の平等を徹底して結束を高める軍国主義的な体制。(3)は伝説上の立法者  
 →貴金属貨幣の使用禁止やクレーロスの公平分配で市民団の平等を徹底し、さらに外国からの  
 影響を防ぐため、他国との自由な往来を禁止する(④鎖国)政策をとる

スパルタ市民同士の争いを避けるためですね。  
 仲間割れには都合が悪いってことだね。



## check

- ①ポリスの中心部にあり、市場や集会が開かれた広場のことをアゴラというか。
- ②ギリシア人は、自らをハネスと呼ぶ。これは、異民族のことをバロイと呼ぶ。
- ③ギリシア人が地中海沿岸に建設した植民市をビザンティオン。
- ④スパルタで、農業をしない奴隷身分の人々をヘイロータイというか。
- ⑤スパルタ市民の強さを団結力を維持するために採用された(軍国主義的)「リクルゴスの制」は何というか。

アテネは、貴族が政治を独占していたところから、徐々に平民の政治参加が認められて、最終的には民主政になりました。今回は、その過程をみていくぞー!!

なぜ、政治を貴族が独占していたのか？  
それは「ポリスを守る人 = 政治をする人」という金失則があったから。豊かな貴族だけが軍備を持っていたから、貴族が独占していた。でも、たまたま小金持ちな平民が増えたり、彼らは重装歩兵として戦いに参加するようになったら、僕も政治に参加したいと主張するようになる。

③ ドラコンの立法... それまでアテネのルール(法)は貴族の頭の中しかなかった(慣習法)のを、文章にして(成文化)

③ ソロン改革... それぞれの財産に合う政治参加、競争参加にした。この頃、借金を返せないと妻と娘に質入して市民が多くなったらしい。だから、それも禁止した。

④ クリステネスの政治は中小農民にやさしくて、評判良かったみたい。お祭りを発案したり。でも、後を継いだ息子がダメで、やはり借金はよくない、ということらしい。

⑤ ① クリステネスの改革 ii) 陶片追放で防止した。

⑥ ペルシア戦争... ギリシア vs アケメネス朝(ペルシア)  
ペルシア支配下にあったイオニアの反乱。同じギリシアだし... 応援したら、「お前関係ないぞ!! 邪魔だ!!」とペルシアが怒ってギリシア vs ペルシアの戦争になったのだ。第1回はラッキー、しかし第2回は負け気しかかった。頼りにしたはずのスパルタが不満で、アテネの男学生は、(少しは)手助けせよと、毒や子どもに逃げさせる... マラトンにむかいました。しかし!! 重装歩兵の戦い法に不慣れなアテネ軍は、混乱し、アテネの崩壊と見えた。ヤッター!! 第3回もテミストクレスの作戦が当たって勝利!!

⑥ ペルシア戦争の頃... 「ポリスを守る上での戦争(無産市民)が、参政権を主張!! → 市民全員(男性のみに)による直接民主政になった。

**check**

- ① 前7世紀後半、アテネの慣習法を成文化した人は誰か。
- ② 前6世紀末、クリステネスが始めた、借金の出現防止策を何というか。
- ③ イオニア植民市の中心地はどこか。
- ④ サラミスの海戦を指揮した、アテネの指導者は誰か。
- ⑤ アテネの民主政が完成した前5世紀後半、アテネの指導者は誰か。

**checkのこたえ**

- ① ドラコン
- ② 陶片追放 (オストラシズム)
- ③ ミレトス
- ④ テミストクレス
- ⑤ ペリクレス

**4 アテネ** 教科書 p32~34

- ① 成立とその体制
  - ◎前8世紀頃にイオニア人がアッティカ地方に建設。当初は王政だったが、騎兵を担った貴族を中心とする政治となったのち、しだいに民主政へ移行
  - ◎**(クリステネス)** 制度がポリスのなかでもっとも発達し、その数は総人口の3分の1を占める → 家内奴隷・農業奴隷のほか、手工業・鉱山労働(ラウレイオン銀山など)にも従事
- ② 貴族政治
  - ◎**(クレイソトス)** (執政官、任期1年・9名)と終身制のアレオパゴス評議会が政治を掌握
  - ◎ギリシア人の植民活動で商工業が活発化し、富裕な平民が武器を自弁して**(重装歩兵)**として軍隊の主力になると、彼らは政治的発言力を強めて貴族と対立

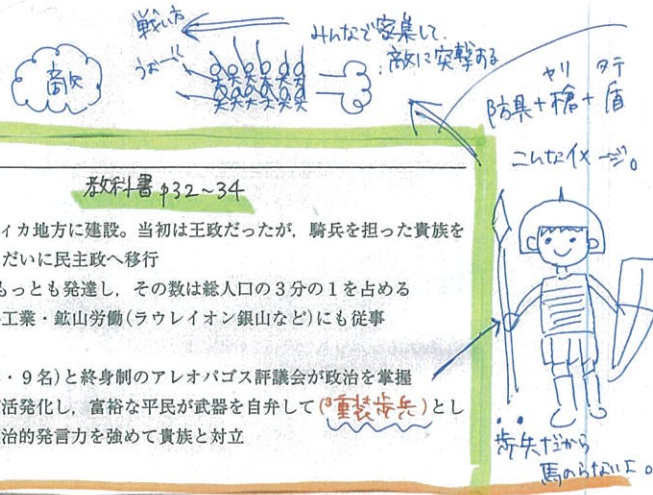
- ◎前7世紀後半、**(ドラコン)**が慣習法を成文化し、貴族による法知識の独占を打破
- ③ 財産政治
  - ◎前6世紀初め、**(ソロン)**が貴族と平民の対立の調停をはかって改革をおこなう
    - i) 所有している土地など財産の量に応じて市民を4等級にわけ、参政権を定める... **財産政治**
    - ii) 負債を帳消しにし、借財で市民を奴隷とすることを禁止(**債務奴隷の禁止**)
  - ◎改革は民主政への第一歩となるが、貴族・平民の双方から非難を受けてソロンは引退
- ④ 僭主政治... 僭主は、民衆の支持を背景に非合法的に政権を獲得した独裁者
  - ◎前6世紀半ば、財産政治への不満を背景に、**(ペイシストラトス)**が非合法的に政権を奪って独裁体制を確立し、中小農民を保護するなど平民層の力を充実させる
  - ◎ペイシストラトスの死後、息子のヒッピアスが暴君化して僭主政治は崩壊

- ⑤ 民主政への歩みとペルシア戦争
  - ◎前6世紀末、**(クリステネス)**が指導者となって改革をおこない、民主政治の基礎を確立
    - i) 血縁による4部族制を廃止し、地縁による10部族制に再編 → 各部族代表による500人評議会や、軍事行政単位の**(テトラリス)**(区)を設置
    - ii) 僭主の出現防止策として、**(陶片追放)**の制度を創始 (陶器のカケラ(陶片)に、僭主になりそう人の名前を書いて投棄する。1年に1回、10年間アテネから追放される)
  - ◎ペルシア戦争(前500~前449)
    - i) 原因... 全オリエントを統一し、商業圏の拡大をねらうアケメネス朝(ペルシア)の支配に対する、アテネの支援を受けた**(ミレトス)**を中心とするイオニア植民市の反乱
    - ii) 経過... 3回にわたる戦いのち、最終的に前449年の和約で終結 **ギリシア人が主権を**

第1回	前492年、 <b>(ダレイオス1世)</b> 率いるアケメネス朝軍がトラキアを制圧するが、艦隊がアトス沖で難破して撤退(アテネの不戦勝)
第2回	前490年、 <b>(マラトン)</b> の戦いでアテネ連合軍が勝利
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クセルクセス1世率いるアケメネス朝軍と、アテネ・スパルタ中心のギリシア連合軍が激突 <b>この戦いは見聞録に7回、映画に「300(three hundred)」</b>である。</li> <li>・前480年、<b>(テルモピレ)</b>の戦いでレオニダス率いるスパルタ軍が全滅</li> <li>・同年の<b>(サラミスの海戦)</b>で、アテネの提督<b>(テミストクレス)</b>が無産市民を三段艦船の漕ぎ手としてもちいた艦隊で、アケメネス朝艦隊に勝利</li> <li>・前479年、<b>(プラタイア)</b>の戦いでギリシア連合軍が勝利</li> </ul>

- ⑥ ペルシア戦争の影響と民主政の完成
  - ◎ペルシア戦争の影響
    - i) ギリシアでは、三段艦船の漕ぎ手として活躍した無産市民の発言力が高まる
    - ii) 地中海の制海権がフェニキア人からギリシア人へ移る
    - iii) ペルシア戦争後、アテネを盟主とする**(デルタ)**同盟(前478頃)が成立し、約200のポリスが加盟して、いわゆる集団安全保障体制を構築
      - ※(18)島に金庫をおいたのでこの名称となったが、のちに金庫はアテネへ移管される
  - ◎アテネ民主政の完成... 前5世紀後半の**(ペリクレス)**が指導者の時代
    - i) すべての成年男性市民が参加する**(月会)**を中心とする直接民主政
    - ii) 官職・裁判陪審員の抽選制(再選不可。将軍職のみ選挙制で再選あり)
  - ◎アテネ民主政と現代の民主政の相違点... 奴隷・女性・在留外国人に参政権がなかったこと、直接民主政のため代議制ではなかったことなど

いつかペルシアが攻めてきたときの[2]に、ポリスがお金を出して、たてた。



古代ギリシア・ヘレニズム史 II

ペルシア戦争に勝利し、いい感じだった  
ギリシアですが、前半、ポリス同士の戦争  
に陥ってしまっています。アテネとスパルタ中心の  
ペロポネソス同盟の戦争。原因は、アテネが、  
ペロポネソス同盟のお金をつかいこんでしまつたらしいこと。  
「もうペルシア全然こなし、つかっちゃっても良いかな？」  
と、つかっちゃったのでしょか。それは多分!! ですね。  
この戦争では、アテネは、ほんまに「ひきこもり作戦」を  
とりました。その場合、病気がはやり、ペリクレスまで  
死んでしまっています。無愚政におちいって見なす。  
その後、スパルタ→テーベとギリシアの主導権が  
うつり、おちつきません。その混乱の際について  
南下して行ったのが、マケドニアという国です。

ギリシア人の国はたくさん、(田舎者あついで、  
ギリシア人とは、バリエーションが豊富です。  
国王フィリップス2世が、カイロネイアの軍で  
ギリシアに勝利し、あつとばかりにまわっていた  
小国は、あきらめたことでは。しかし、4度の目的は  
そこはあきらめません。ギリシア同士の抗争を、  
裏であつていたペルシア!! アケメネス朝ペルシア  
を倒すのが、真の目的でした。

しかし!! 志半ばでフィリップス2世は殺されてしまつた。  
その子、アレクサンドロスが即位して、20歳という  
若さでしたが、戦争も政治も完結にこなしてしまつた。  
幼い頃から勝負が、父王が、戦争に勝つと、  
「僕の敵がいなくなるじゃないか!!」と、喜ばはらた  
らしい。実際強敵、ペルシアを倒した。

②アレクサンドロスの夢は100人が関係ない  
世の中をつくることでした。ギリシア人の先生から、  
「ギリシア人以外は、動物か植物と同じと思つていい」  
と教わられた。絶対好き嫌いなくつくる。あ、幼いね。で、夢実現のためにつくれたのが、  
⑥アレクサンドリア市。ギリシア風の町にして、  
ギリシア人の移住を促しました。

アレクサンドロスの死後、あつと争いがあつて、  
国は分かれてしまいました。地図で  
確認してください!!

**check** 答えは右端に。

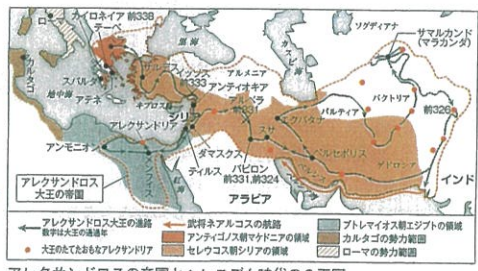
- ① スパルタを盟主とする同盟を(何)というか。
- ② ペリクレスを倒したアテネに出現した、  
下級を扇動する政治家のことを(何)というか。
- ③ カイロネイアの軍でギリシア軍を破ったマケドニア王の名前は(何)か。
- ④ アレクサンドロス大王に見たペルシアの君主は(誰)か。
- ⑤ アレクサンドロス大王の死後、エジプトに成立した王朝は(何)か。

**5 ポリスの変容とマケドニアの台頭** 教科書 p34~35

- ① ペロポネソス戦争(前431~前404)
  - ② アテネとコリントスとの紛争をきっかけに、アテネの勢力拡大を警戒する(クレオボテラ)を盟主とするペロポネソス同盟が開戦して、全ギリシアを巻き込む戦争に発展  
→当初アテネが優勢だったが、戦争中に流行した疫病でペリクレスが死亡  
→ペリクレスの死後、(デマゴゴス)と呼ばれる扇動的な大衆政治家がアテネの指導権をにぎり、政治が混乱(こうした政治は(無愚)政治と呼ばれる)マスコミの情報に振りまわられたり、  
③ 最終的に、アケメネス朝の支援を受けたスパルタにアテネが敗北して終結  
④ アテネの衰退とテーベ(テーバイ)の台頭  
⑤ ペロポネソス戦争の敗北でアテネの勢力は衰退し、デロス同盟も消失するが、民主政は継続  
⑥ スパルタがギリシアの主導権をにぎると、(テーベ)がスパルタに反発し、エパメイノダスを指導者に前371年の(レウクトラ)の戦いに勝利して、主導権を獲得  
⑦ たえまないギリシアの戦乱のなか、土地を失って市民身分から転落するものが増加  
→市民軍にかつて(僱兵)の使用が広まり、市民の結束によるポリス社会は後退  
⑧ マケドニアの台頭  
⑨ 職業軍人の(何)として(何)する。ポリス守り人が政治する(原則)が崩れる  
⑩ 成立…ポリスをつくらなかったドーリア系のギリシア人の一派が、ギリシアの北方に建国  
⑪ 前4世紀後半、マケドニアは(フィリップス2世)のもとで軍力を強め、衰退したギリシアに勢力を拡大  
⑫ 前338年、フィリップス2世の率いるマケドニア軍が(カイロネイア)の戦いでアテネ・テーベの連合軍を破る  
→彼は(コリントス)同盟を成立させて、スパルタを除く全ギリシアを支配下におく  
ポリス同士戦争するな!! という同盟

**6 アレクサンドロスの帝国とヘレニズム世界** 教科書 p35-36

- ① アレクサンドロス大王の東方遠征
  - ② フィリップス2世が暗殺されたのち、マケドニア王に(アレクサンドロス)大王が即位  
③ 前334年、大王はアケメネス朝征討のためにマケドニア・ギリシア軍を率いて東方遠征を開始  
→前333年の(イッソス)の戦いや、前331年の(アベラ)の戦いでペルシア王(ダレイオス3世)を破り、前330年にアケメネス朝ペルシアを滅ぼす  
④ アレクサンドロスの帝国  
⑤ アレクサンドロス大王は、アケメネス朝を滅ぼした後もさらにインド西北部まで進軍し、10年あまりでギリシア・エジプトからインダス川流域にいたる大帝國を建設  
⑥ 遠征の途上、各地の拠点として約70におよぶ(アレクサンドリア)市を建設  
→エジプトの(5)市は、ヘレニズム世界の政治・経済の中心となる  
⑦ 大王は、ギリシア人の移住や傭兵のペルシア人との結婚を奨励し、ペルシア人を積極的に登用して東西の融合につとめる



アレクサンドロスの帝国とヘレニズム時代の3王国

方、東方の専制君主政の導入をころみる  
→前324年、アレクサンドロス大王は(バベロン)に凱旋したが、翌年に熱病で急死

- ③ ヘレニズム時代の3王国
  - ④ アレクサンドロス大王の急死後、(ディアドコイ)(後継者)による領土をめぐる戦争が勃発し、アレクサンドロスの帝国は分裂  
⑤ (プトレマイオス)朝エジプト(前304~前30)…首都をアレクサンドリアにおき、エジプト地方を支配。アレクサンドリアはヘレニズム世界の経済・文化の中心として繁栄  
⑥ (セレウコス)朝シリア(前312~前64)…首都をアンティオキアにおき、中央アジア~小アジアを支配。前3世紀にその領域からバクトリアとパルティアが独立  
⑦ (アンティゴニス)朝マケドニア(前276~前168)…首都をペラにおき、マケドニア・ギリシア地方を支配  
⑧ (ヘレニズム)時代…大王の東方遠征からプトレマイオス朝の滅亡までの約300年間

今回はこのまで!  
あつと分けてみた。  
最近スコアアップの  
ポイント!!

- ① ペロポネソス同盟
- ② デマゴゴス(デマゴグ)
- ③ フィリップス2世
- ④ ダレイオス3世
- ⑤ プトレマイオス朝